



政務活動費収支報告書

平成 30 年 4 月 8 日

瑞穂町議会議長

小山典男 様

議員名 小 川 龍 美

平成 29 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | (政務活動費交付額 金 | 100,000 | 円) |
| 2 | 支 出 | (政務活動費支出額 金 | 115,590 | 円) |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

平成29年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 小川龍美

1 収 入

項 目	金 額	説 明
政務活動費 (①)	100,000 円	当初交付金

2 支 出

項 目	金 額 ※1	説 明
調 査 研 究 費	96,126 円	支出内訳参照
研 修 費	円	
広 報 ・ 広 聴 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	19,464 円	
合 計	115,590 円	

差引金額 (①-②)	△ 15,590 ^{※2} 円
------------	--------------------------

※1 用途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△ (マイナス) の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

項目	適用及び内容 (視察の場合は日程及び場所を記入すること)	支払金額	備考
調査研究費	平成29年10月23日～10月25日 新潟県見附市. 新潟市. 佐渡市	57,785 円	
調査研究費	平成30年2月15日～2月17日 香川県丸亀市. 三木市. 高松市	38,341 円	
資料購入費	西多摩新聞	9,864 円	
資料購入費	西の風新聞	9,600 円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		115,590 円	

視 察 報 告 書

議員名 : 小 川 龍 美

1 期 間 : 平成 29年 10月 23日 (月) ~ 10月 25日 (水)

2 参 加 者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	新潟県	見附市	スマート・ウエルネス・シティ (SWC) の取り組み
[2]	新潟県	新潟市	食育の取り組み
[3]	新潟県	佐渡市	認知症予防事業・エクサドンの取り組み

4 視察報告

(1) 選定理由

- [1] 総合基本計画の都市の未来像に「スマート ウエルネス みつけ」を掲げて具体的な事業に取り組んでいた。
- [2] 食育・花育センターを活用し、食育の普及啓発を継続すると共に、実践に繋がる取組を実施していた。
- [3] 認知症予防事業として、和太鼓を中心とした健康増進・介護予防・認知症予防活動の取り組みを行っていた。

(2) 視察内容

- [1] 見附市では、「住みたい 行きたい 帰りたい やさしい絆のまち みつけ」として、「スマート ウエルネス みつけ」の実現に向け、取り組んでいた。
 - ①健康になれるまち・歩きたくなる道などの整備として自転車通行帯の整備、サイクリングロードの整備、ウォーキングコースの整備やコミュニティバスや乗り合いバスなどの地域公共交通の体系の整備
 - ②地域が元気な町・企業誘致・企業交流会の実施、地産地消・販路拡大、まち

なか賑わいやコシヒカリオーナー制度、見附とおき百選などの交流事業、地域コミュニティ組織の再編等、コミュニティの推進

③環境にやさしいまち・・・ごみの減量化、廃食油の回収、学校の太陽光発電装置設置、YM菌による生ごみ実証実験

④健幸を理解し行動・・・医師会と共催での講演会、健幸フェスタ、人間力を育む「四つ葉運動」、ふるさと見附を愛する子どもを育てる共創郷育など

これらの取り組みの他、健幸に関する条例を定め、それに基づく計画に沿って、高齢者の閉じこもりを防ぐためにも、外出を促す、スマート ウェルネス シティ・みつけ（SWC）施策を進める拠点整備も計画的に進めていた。

[2] 新潟市では食育・健康づくりを市民運動として広がることを目指し、平成18年に推進室を設置。翌19年には食育推進条例を制定し、周知と共に、積極的な取り組みを推進。23年には「食育・花育センター」を建設、オープンし、ここを拠点に事業を展開。「食育の日」協力店登録事業、食育・花育マスター制度、体験プログラム、わくわく教育ファーム推進事業、味覚体験プログラムの開始、料理教室（子ども向け、大人向けなど様々）など、新潟の豊かな食材を活用した、楽しく学び、楽しく食する取り組みを展開していた。

[3] 佐渡市では東北大学の川島隆太教授のアドバイスを基に、読み書き計算を取り入れた「しゃきっと教室」和太鼓を使った認知・介護予防事業エクサドンを実施していた。市民に身近な和太鼓と伝統芸能を予防事業として取り入れ、医療・太鼓集団・行政の協働で進めていた。エクサドンはファシリテーターの太鼓の打ち方をまねることからスタートし、同じたたき方を隣に伝える回覧ゲームなど、市民が自らエクササイズを進めていく教室を運営していた。楽しく脳トレ、体力アップに繋がり、成果を上げていた。

(3) 町にどのような提言ができるか

[1] 住んでいるだけで健やかに幸せに暮らせるまちを目指す「スマート ウェルネス みつけ」は、健康を中心に据えたまちづくりであり、わが町でも大いに参考にすべき。

[2] 新潟市を参考に、食育に関する優れた知識、技術、技能及び経験を有する人材「食育マスター」を養成し、町民や各種団体、学校や保育園等の食育活動を推進すべき。

[3] わが町にある武州唐獅子太鼓の団体に協力を求め、和太鼓を活用した認知症予防・介護予防事業「エクサドン」に取り組むべき。

視 察 報 告 書

議員名 : 小 川 龍 美

1 期 間 : 平成 30年 2月 15日 (木) ~ 2月 17日 (土)

2 参加者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1] 香川県	丸亀市	介護予防の取り組みについて
[2] 香川県	三木町	子育て支援に組み込みについて
[3] 香川県	高松市	子ども未来館 (こどもミライエ) 現地視察

4 視察報告

(1) 選定理由

- [1] 健康体操を活用し、地域ぐるみの介護予防事業に取り組んでいた。
- [2] 子育て日本一を掲げ、三木町版ネウボラ事業に取り組んでいた。
- [3] 子ども支援に特化した複合施設「子ども未来館 (こどもミライエ)」を建設。

(2) 視察内容

- [1] 丸亀市では介護保険事業計画の基本理念「高齢者が生きがいを持って 安心して自分らしく生活できるまちづくり」を目指し、4つの仕組みづくりで具体的施策に取り組んでいた。その中で、今回視察した「高齢者がそれぞれの介護予防に取り組める仕組みづくり」では、地域づくりによる介護予防の推進、一般介護予防事業の充実、地域ぐるみの自主的な健康づくり活動、生活習慣病重症化予防の推進、口腔ケアの推進に取り組んでいた。

地域づくりでは高知市の「いきいき百歳体操」を参考に、100g単位で調整可能なおもりを付けて、週1回のペースで基本的な体操をゆっくり行う「元気いっぱい!長生き体操」を住民が主体的に実施。定期的に身体・精神面の評価・指導を行う。

一般介護予防事業では転倒予防の「ころばんぞ〜教室」、椅子を使った「からだ

楽らく教室」、身近に取り組める「介護予防のための体操教室」と高齢者自らが予防体操指導者となって行う「しゃんと体操」を実施。

地域ぐるみの自主的な健康づくり活動では、コミュニティ（小学校区）単位で認知症講演会、相談会を行うなど、地域ぐるみでワーキンググループで企画、運営委員会で提案し、具体的事業を地域で実践。

口腔ケアの推進では、歯科医師会に委託して、集団で楽しく学べる教室を市内6会場で開催。啓発は口コミで、大きく拡大。

住民が主体的に意識も高く、積極的に取り組める工夫がなされていた。

- [2] 三木町では「子育て日本一」と銘打って子育て支援に取り組んでいた。妊娠前から子育てまで、切れ目のない母子支援、三木町版ネウボラ事業を実施。妊娠前の支援では、全中学3年生対象に「性感染症」「妊娠」についての授業を行う思春期教育、特定不妊治療費助成事業を実施。妊娠期は健診助成の他、両親学級や妊婦訪問を実施。出産後は乳児家庭全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」、母体ケア・乳児ケア、授乳・沐浴指導などを行う産後ケア事業、集いの場「ママカフェ」の他、健診事業では5歳児健診も実施。さらに、子育てホームヘルプサービス事業、専門家（産婦人科医・助産師）による相談事業、病児・病後児保育、子育て支援券（第1・2子1万円、第3子20万円）の配布など、あらゆる支援が施されていた。

今後は地方創生総合戦略「まんで願大作戦」として「三木町まんで願いきいきパーク（仮称）」に建設に着手。高松市の「こどもミライエ」を参考に、町民が世代を超えて集い、コミュニティが支える子育てとまちづくりの拠点としたいとしていた。

- [3] 高松市では、28年11月、市民文化センター跡地に子ども未来館を建設。「子ども・子育て支援」「学習体験」「市民交流」機能を有した拠点として、科学展示室やプラネタリウム、プレイルームなどを設置して、学びと遊びで子どもの創造力や探求心を育むプログラムを提供すると共に、平和祈念館、図書館、男女共同参画センターを併設し、子どもから大人まで幅広い世代の人々が多様な関わりを持ち、交流とにぎわいを生み出していた。

(3) 町にどのような提言ができるか

- [1] 住民が地域や近隣のつながりを通して、自主的に健康づくりに取り組む施策は大変有益である。「元気いっぱい！長生き体操」の手法を参考に、仕掛けや支援の仕方を研究し、わが町でも推進すべき。
- [2] 町は、30年度、産前・産後サポート事業、産後ケア事業にも取り組み、子育て包括支援事業が進められるが、三木町のような子育てヘルプサービス事業（妊娠中、3歳未満の子供がいる家庭の家事援助）、中学3年生を対象にした思春期教育、不妊治療助成事業の早期取り組みを強く望む。
- [3] 高松市の「こどもミライエ」のような大変充実した複合施設を町単独で建設す

ることは難しいと考えるが、将来、西多摩広域で建設できるよう期待する。町では、世代間交流などもできる、子どもの居場所づくりに早期に取り組むべき。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
1/25	飛行機代・宿泊費							36,800
小 計								36,800
合 計						36,800	円	

6 交通費 : ガソリン代 481 円
 有料道路通行料 393 円
 駐車場代 667 円
 計 1,541 円

7 手数料 : 円
 8 保険料 : 円
 9 資料代 : 円
 10 その他 () : 円

総 合 計 38,341 円